

## 解 答

1 (B)	2 (A)	3 (D)	4 (B)	5 (B)	6 (C)
7 (B)	8 (D)	9 (C)	10 (D)	11 (B)	12 (B)
13 (B)	14 (D)	15 (C)	16 (D)	17 (C)	18 (A)
19 (A)	20 (C)				

- 「昨日の夜 4 時間しか寝ていないんだ。今日午後の営業会議ですっと起きていられるかわからない」
  - ▶ 空欄前の動詞 stay の語法がポイントである。通例、叙述用法で用いられる形容詞の awake は stay と結びつき「起きたままでいる」という意味になる。他の選択肢は動詞の awake(n)「目覚める/～を目覚めさせる」の活用形だが、stay の後にくるのはいずれも不適。
- 「親しい友人のほとんどが部員なので、バドミントンクラブが好きです」
  - ▶ 「～のほとんど、ほとんどの～」は① **most** + 名詞の複数形, ② **most of** + 限定詞 (**the, this, 所有格** など) + 名詞の複数形, のいずれかで表す。(B) almost 「ほとんど」は副詞なので, almost all (of) の形でなくては空所に入れられない。
    - **most of the A** 「A のほとんど」 (= almost all of the A)
    - Almost all of the seats are reserved today.*  
(今日は席のほとんどが予約済みです。)
- 「リチャードが名古屋に来てから 8 年経った」
  - ▶ 「～してから A 年になる」という完了形の基本構文。現在完了形 (have passed) の文と過去形 (came) の文をつなぐ接続詞は since 「～以来」である。
- 「申し訳ないのだけど、今すぐにはあなたのレポートを読めません。本当に時間がないのです」
  - ▶ この the は否定文で「十分な」 (= enough) という意味に解釈される。
    - [例] He didn't have **the** courage to go there.  
(彼はそこへ行く(だけ)の勇気がなかった。)

■ time を含む間違いやすい表現

Do you have (some) time? 「お時間はありますか」 (= Are you free now?)

Do you have the time? 「今、何時ですか」 (= What time is it now?)

- 「いつだってあなたが正しいと思うことをしなければならない」
  - ▶ what (you think) is right 「正しい(とあなたが思う)こと」という構造。what は先行詞を含んだ関係代名詞。

関係代名詞 what の基本用法

**what** はその中に先行詞を含んだ特殊な関係代名詞である。what 1 語で **the thing(s) which** 「～すること [もの]」の意味の名詞節を導く。what 節は名詞の働きをするので、文中で主語・目的語・補語になる。

(1) What worries me is the result of the exam. [主語]

(私を不安にさせるのは、試験の成績のことだ。)

(2) They couldn't believe what they saw. [目的語]

(彼らは自分たちが見たものを信じられなかった。)

(3) This watch is just what I wanted! [補語]

(この腕時計はまさに私が欲しかったものだ!)

- 「今夜猛勉強しないと、明日の英語の試験に受からないだろう」
  - ▶ カンマ(,)の前後はいずれも主語と動詞がそろった文なので、接続詞を要する箇所。(C) unless 「～しなければ」は接続詞なので、(C) が正解。(A) despite 「～にもかかわらず」、(D) except 「～を除いて」は前置詞。(B) even 「～さえ」は副詞だが、Even if 「たとえ～しても」ならば可能。(D) には接続詞の用法もあるが、その場合は except that 「～という事実を除けば」という意味なので不適。

- **unless** ~ 「～でない限り(=**except that** ~)/もし～でなければ(=**if ...not**)」
    - ▶ **unless** は「～でない限り」という否定の条件を表し、仮定法では用いない。
    - ▶ **unless** は **if ... not** に置き換えられる場合が多い。
- 本問 = The laundry won't dry quickly **if it is not** sunny.

- **even though** 「～ではあるが」
  - Even though* [×*Even if*] it was raining, we (still) went to the beach.
  - (雨が降っていたが(それでも)海へ行った。)

7. 「ノブオは何も悪いことをしていないのに、謝ることを強いられた」
- ▶ **make A do**「A に～させる」の受動態は、**A is made to do** となる。原形不定詞が **to** 不定詞に変わること注意。
  - ▶ 使役動詞の **have** や **let** は受動態にはしない。let の場合は **allow** で代用する。
- [例] **I was allowed**(×let) **to go** to college.

(私は大学に行かせてもらった。)

8. 「マールウは来週火曜日の午後 3 時、成田空港で私に(車で)拾ってもらいたがっている」
- ▶ 時刻につく前置詞は **at** である。

『時』を表す <b>at/on/in</b> の基本用法
□ <b>at</b> : 時の一点(時刻/正午/真夜中など) <b>at seven</b> 「7 時に」、 <b>at noon</b> 「正午に」、 <b>at midnight</b> 「真夜中に」
□ <b>on</b> : 特定の日(日付/曜日など) <b>on Sunday</b> 「日曜日に」、 <b>on my birthday</b> 「私の誕生日に」 <b>on May 5(th), 2012</b> 「2012 年 5 月 5 日に」 [『on+月+日,年』の語順]
□ <b>in</b> : 比較的長い期間(月/季節/年/世紀/午前/午後など) <b>in August</b> 「8 月に」、 <b>in winter</b> 「冬に」、 <b>in 2000</b> 「2000 年に」 <b>in May, 2012</b> 「2012 年の 5 月に」 [『in+月,年』の語順] <b>in the morning</b> [ <b>the afternoon/the evening</b> ]「午前[午後/夕方]に」

9. 「友達がみんな楽しんでいる休日に働かなくてはいけないのは嫌だ」
- ▶ **hate** の語法は **hate to do** または **hate doing** で「～するのを嫌う」。
- [例] **I hate going** [to go] to the dentist's.
- (歯医者へ行くのは嫌だ。)

目的語が動名詞でも不定詞でもよい他動詞		
begin(始める)	cease(やめる)	continue(続ける)
<b>hate</b> (嫌う)	intend(するつもりである)	
like(好む)	love(大好きである)	start(始める)
neglect(しない/し忘れる)		

10. 「昨日、ケイトに 5 年ぶりに会った」
- **for the first time in A years** 「A 年ぶりに」
    - Yesterday I saw an old friend of mine *for the first time in ten years*.
    - (きのう、10 年ぶりに昔の友人に会いました。)
11. 「チーズケーキにするか、アップルパイにするか、選べないよ。どっちがお勧め？」
- ▶ (A)decide「～を決める」や(C)select「～を選ぶ」はその場で行う行為であり、**単純現在形**(=普段の習慣)とは相容れない(**do you** ではなく **will you** ならば可能)。
  - (B)recommend「～を勧める」は普段から行っていると解釈できるので空所に入る。
12. 「部屋を出る前に、必ず照明を消して下さい」
- ▶ **switch**[**turn**] **off the light** 「照明を消す」
  - ⇔ **switch**[**turn**] **on the light** 「照明をつける」
- [例] She *switched off* all the lights which had been left on.
- (彼女はつけっぱなしの明かりを全部消した。)
- **make sure to do** 「確実に～する/(必ず)～するように注意する」
    - Make sure to save the file to your computer.*

(そのファイルを必ずあなたのコンピュータに保存しなさい。)

13. 「クリスはオフィスにいなかったので、彼の同僚に伝言を受け取ってくれるように頼んだ」

□ **take a message** 「伝言を受け取る」 ⇔ **leave a message** 「伝言を残す[頼む]」

Can I *take a message*?

(ご伝言をうかがいましょうか。)

May I *leave a message* for him with you?

(あなたに彼あての伝言を頼んでいいですか。)

14. 「ジェイソンは学業優秀を評され、メダルを授与された」

▶ 受動態を能動態にして考えると, (They) ( ) Jason a medal for ... の空欄の動詞は, SVOO の語法を持つ動詞であると分かる。選択肢の中で, 第 4 文型をとることのできる動詞は (D)award のみである。

その他の選択肢は, (A)praise「～を褒める」, (B)deserve「～に値する」, (C)honor「～を尊ぶ」はいずれも第 3 文型をとる動詞である。

□ **award A B** 「A(人)に B(賞)を授ける」

He was *awarded* the Nobel Peace Prize. [受動態]

(彼はノーベル平和賞を授与された。)

The Military Cross was *awarded to* the soldier. [受動態]

(= The soldier was awarded the Military Cross.)

(戦功十字賞が兵士に授与された。)

15. 「スーは自動車事故を目撃したことは認めたが、何がおこったのかをあまり説明できなかった」

▶ (A)permit「～を許可する」は文意にあわず, (B)agree「～に賛成する」に動名詞を続ける場合は前置詞 to が必要。(D)believe「～を信じる」は目的語に動名詞をとれない。

□ **acknowledge having done** 「～したことを認める」

He *acknowledged having been defeated*.

(彼は敗北を認めた。)

16. 「天気予報によれば、今日の午後は雨が降る確率が高い。傘を持って行ったほうがいいよ」

▶ It rains「雨が降る」(it は天候・気候を表す)の述語部分に be likely to do「～する可能性が高い」を組み合わせたもの。形式主語構文ではないので注意。

▶ (A)probably は「たぶん,おそらく」という意味の副詞, (B)chance「機会」では文意にあわない。(C)possible は「可能な」という意味の形容詞で, It is possible for A to do で「A は～することができる」。

□ **be likely to do** 「～しそうである」 ⇔ **be unlikely to do** 「～しそうもない」

The price of computers *is likely to* fall again.

(コンピューターはまた安くなりそうだ。)

17. 「ブライアンと話す必要があるんだけど、彼は今、社外なんだ。いつ戻って来るかわかる？」

▶ have some idea of ~「～に関するある程度の考えを持っている」=「～を知っている」~の部分にあたるものが疑問詞節の時は of が省略されやすい。また、ここでは疑問文なので some が any になっている。

(A)knowledge「知識」, (B)thought「思考」, (D)suggestion「提案」。

cf. **have no idea** + 疑問詞節 「～かを少しも知らない[わからない]」

You can *have no idea how anxious we have been*.

(君にはわれわれがどんなに心配していたか分かるはずがない。)

18. 「エイミーは読んでいた小説に夢中になることが難しいと思っていた。あまりにもつまらなかったからだ」

▶ I'm **into** the Internet.「インターネットにはまっているんだ」のように into に「～に夢中だ」という意味がある。

[例] She first *got into* jazz when she was in high school.

(彼女は高校とき初めてジャズに夢中になった。)

She's very much *into* jazz.

(彼女はジャズに夢中になっている。)

**get into** ~ 「~に夢中になる, ~の中へ入る」

**get by** 「(なんとか)通り抜ける」

**get A on** 「A(服など)を身につける, 着る」

**get along** 「なんとかやっていく」

19. 「この会社では、全員が何らかの自発性を示して、自分自身の力で働けることを期待しています」

▶ (A)initiative「自発性」, (B)strategy「戦略」, (C)effectiveness「効果」,  
(D)endurance「忍耐」

**show[take] initiative** 「イニシアティブを示す〔をとる〕/率先的に行動する」

He *took the initiative* in carrying out the plan.

(彼は率先して計画を実行した。)

**on one's own** 「一人で, 単独で/自分で, 独力で」

Can you finish the work *on your own*?

(その仕事をあなただけで仕上げられますか。)

20. 「ジョンは今勤めている会社を辞める気はまったくない。今の仕事が大好きなのだ」

▶ (A)motive「動機」の後に続くのは, *of doing* ではなく *to do* である。(B)ambition「野心」, (D)reflection「反省, 反射」

**have no intention of doing** 「~する意図[~する気]は全くない」

(= **not intend to do**)

I *have no intention of obeying her*. (彼女に従うつもりはない。)

(⇒ I *don't intend to obey her*.の方が好まれる)